



# よく手を洗いましょう！ 感染性胃腸炎

令和6年12月4日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和6年第48週分・11月25日～12月1日)

### 《インフォメーション》

#### ●感染性胃腸炎

今週、県内定点医療機関（小児科）からの感染性胃腸炎報告数は5.07人/定点となり、先週の3.38人/定点よりも増加しました(図)。感染性胃腸炎は例年冬季に患者報告数が増加する傾向があり、今後の感染拡大に注意が必要です。

感染性胃腸炎は、ウイルスまたは細菌などの病原体による下痢、おう吐を主症状とする感染症の総称です。原因はウイルス（ノロウイルス、サポウイルス等）によるものが多く、特にノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、冬季に増える傾向があります。

ノロウイルスは、小児では主に汚染された糞便や吐物から人の手などを介した接触感染や、比較的狭い空間等での飛沫・塵埃感染によって広がります。ウイルスに感染後24～48時間の潜伏期を経て、吐き気・おう吐・下痢・腹痛等の症状を引き起こします。抗ウイルス薬やワクチンはなく治療は対症療法が中心となります。また、ノロウイルスの排出は症状の消失後も数週間ほど続きます。ノロウイルスは感染性が強く、アルコール消毒が効きません。汚染された糞便や吐物、患者が使用したものなどは塩素系消毒剤等を用いて消毒する必要があります。

次のことに注意してノロウイルスによる感染を予防しましょう。

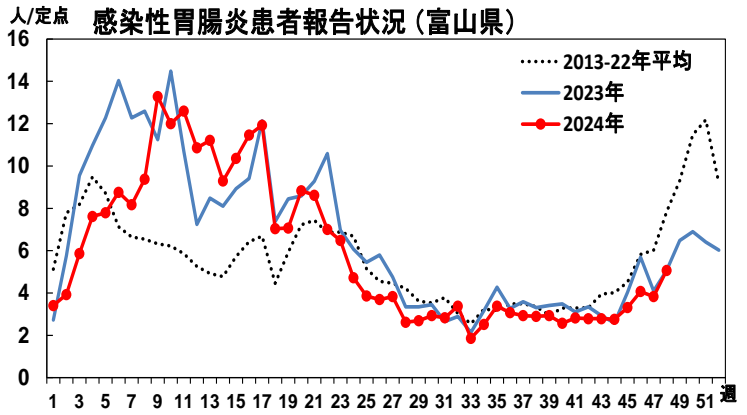
- 食事の前やトイレの後などには、手を洗う。
- 糞便や吐物は、マスク・手袋を着用したうえで、塩素系消毒剤等を用いて処理する。
- 加熱が必要な食品は、しっかり加熱(中心部が85～90℃で90秒以上)して食べる。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない。

### 《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 1件 (第47週診断分：80歳代、男性)
- 三類感染症 腸チフス 3件 (①②共に10歳代、女性 ③30歳代、女性)
- 四類感染症 レジオネラ症 2件 (①②共に70歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 2件 (①第47週診断分：70歳代、男性 ②60歳代、男性)
- 梅毒 2件 (①第47週診断分：50歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期 ②60歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

### 《定点報告の感染症》

今週の富山県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	5.07 (↑)	3.83
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.41 (↑)	2.62
3位	手足口病	1.62 (↓)	2.93
4位	インフルエンザ	1.21 (↑)	0.42
5位	COVID-19	1.13 (↑)	0.94
6位	マイコプラズマ肺炎	0.60 (↓)	1.60



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第48週 令和6年11月25日～令和6年12月1日）

分類	疾患	今週報告分（第48週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核							11	5	33	12	46	107
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							7	4	15	8	28	62
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								2	9	4	8	23
四類感染症	腸チフス			3			3			3			3
	E型肝炎											2	2
	つつが虫病							1					1
	ポツリヌス症											4	4
五類感染症	レジオネラ症				1	1	2	3	2	13	5	21	44
	アメーバ赤痢											3	3
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症					1	1	2		8		14	24
	急性脳炎									1	1	1	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							2		4	1	13	20
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	3	4
	ジアルジア症											1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									3	1	7	11
	侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							3		2		4	9
	水痘（入院例）							1	1	1			3
	梅毒			1			1	3		9	8	22	42
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									2			2
	百日咳											1	1
	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	10	5	15	1	27	58	1,103	1,045	4,144	1,570	5,140
COVID-19		1.43	1.00	1.15	0.14	1.69	1.21	2,497	1,259	4,002	2,225	3,292	13,275
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症			2		2	4	82	71	626	72	489	1,340
	咽頭結膜熱	3	2	6		2	13	131	264	709	39	716	1,859
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.75	0.67	0.75		0.20	0.45	214	188	3,268	325	1,582	5,577
	感染性胃腸炎	2	2	53	1	41	99	1,022	733	1,618	693	4,079	8,145
	水痘	15	13	29	1	89	147	3	19	122	15	89	248
	手足口病	3.75	4.33	3.63	0.25	8.90	5.07						
	伝染性紅斑					3	3	283	910	3,678	678	3,865	9,414
	突発性発しん	2	3	19	1	22	47	1	26	8	2	16	53
	ヘルパンギーナ	0.50	1.00	2.38	0.25	2.20	1.62						
	流行性耳下腺炎					2	2	11	21	140	38	130	340
	急性出血性結膜炎					0.20	0.07						
	細菌性髄膜炎					2	2						
	無菌性髄膜炎					0.20	0.07			1	3		4
	マイコプラズマ肺炎					3	3	2	17	65	31	19	134
感染性胃腸炎（ロタウイルス）					3.00	0.60				1		1	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）		11				11	1	11	3	1	1	17
	COVID-19による入院患者	4	6	2	1	1	14	224	183	211	245	602	1,465

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和6年第36週（9月2日）～の集計です。

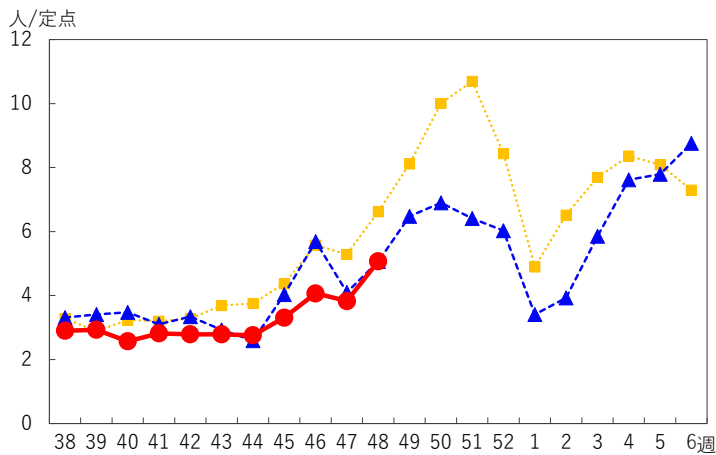
# 今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2024（令和6）年 第48週（11月25日（月）～12月1日（日））

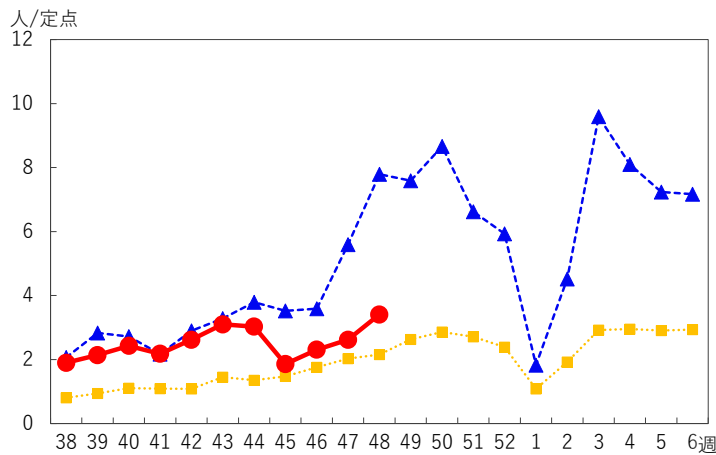
12月4日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

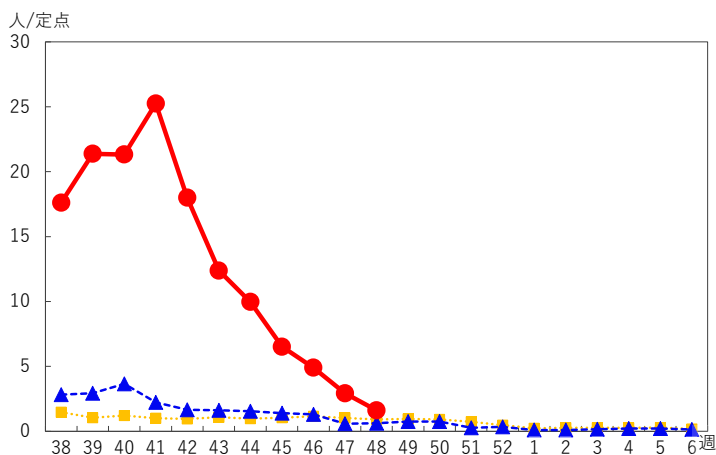
## 感染性胃腸炎



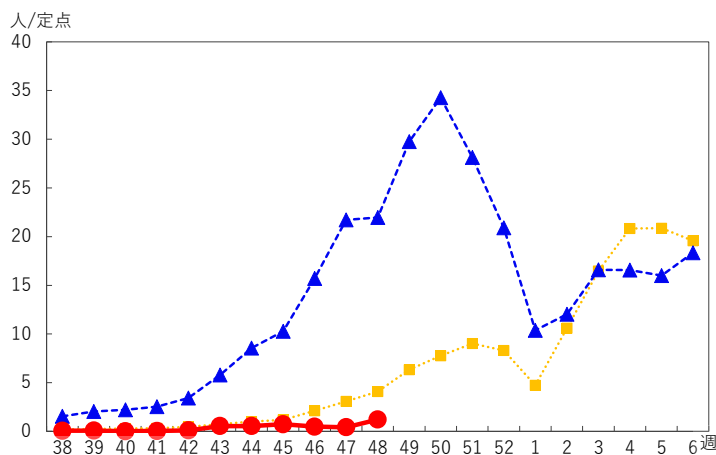
## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



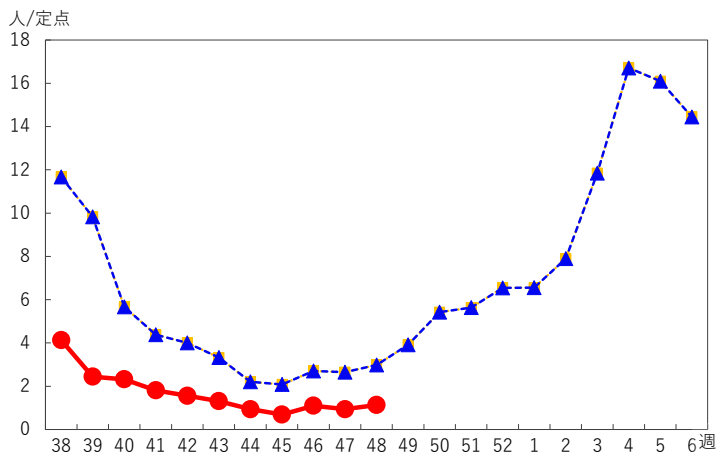
## 手足口病



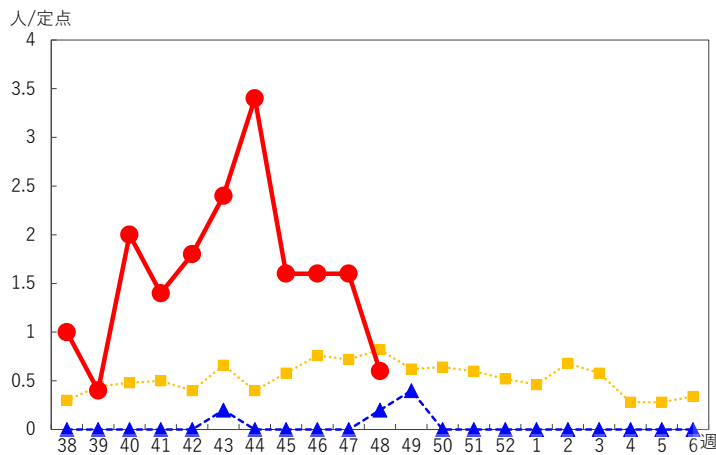
## インフルエンザ



## COVID-19



## マイコプラズマ肺炎



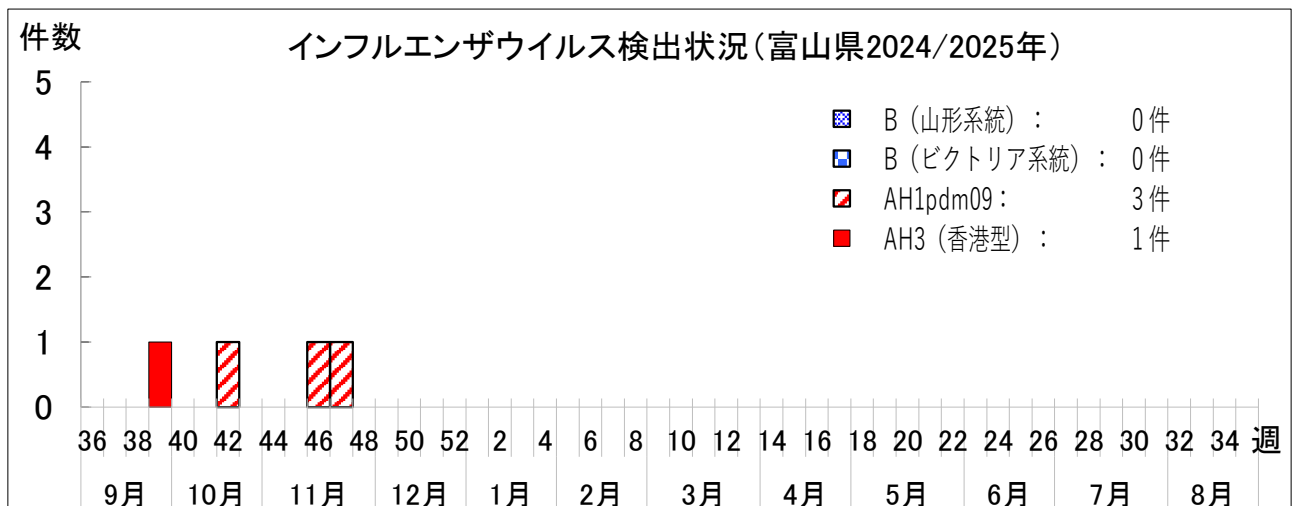
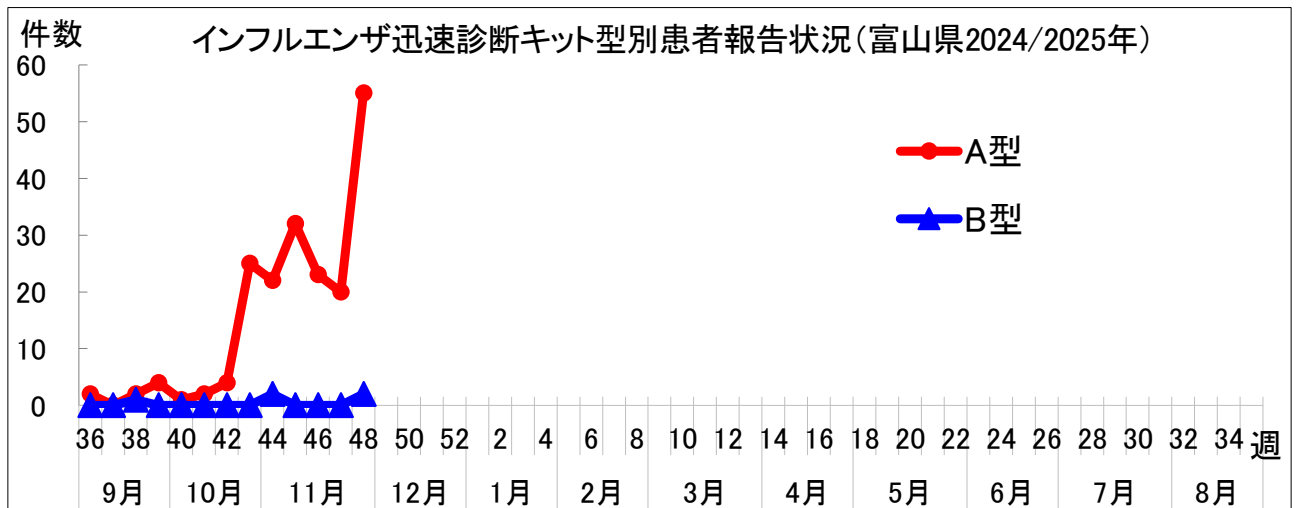
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。  
 現在、下の表によると、A型が94.8%となっています。

**第48週(11/25~12/1)：富山県 1.21人/定点** (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	5 / 7	10	0	0	10
中部	2 / 5	5	0	0	5
高岡	5 / 13	13	1	1	15
砺波	1 / 7	1	0	0	1
富山市	11 / 16	26	1	0	27
富山県	24 / 48 <sup>※1</sup>	55	2	1	58
富山県累計(2024年36週~)		192	5	8	205

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が24か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



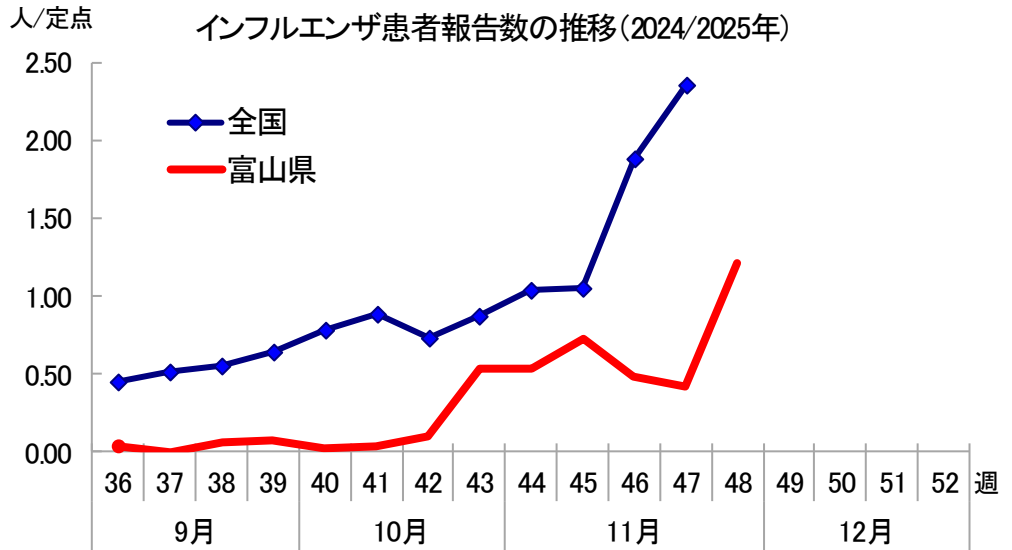


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第48週 (11/25~12/1) : 富山県 1.21人/定点

新川 HC (1.43)、中部 HC (1.00)、高岡 HC (1.15)、砺波 HC (0.14)、富山市 HC (1.69)

全国では第44週に流行入りの目安である1.0人/定点を超え、流行期に入りました。  
富山県では全国に遅れて今週1.0人/定点を超え、流行期に入ったとみられます。

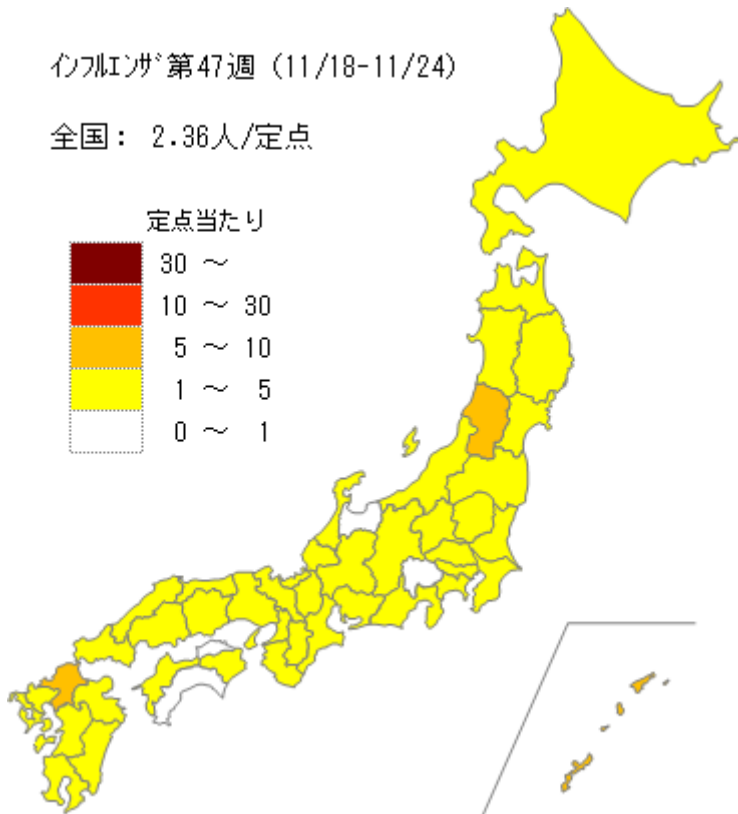


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第47週 (11/18~11/24)

全国の子患者報告数は、定点医療機関あたり 2.36 人となり、前週の 1.88 人より増加しました。  
37 都道府県で前週より増加しています。

インフルが第47週 (11/18-11/24)

全国： 2.36人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	2.11 ↑	滋賀県	1.68 ↑
青森県	1.41 ↑	京都府	1.56 ↑
岩手県	2.56 ↑	大阪府	2.17 ↑
宮城県	2.84 ↑	兵庫県	1.67 ↑
秋田県	3.10 ↑	奈良県	1.28 ↓
山形県	5.65 ↑	和歌山県	1.81 ↑
福島県	3.66 ↑	鳥取県	4.28 ↑
茨城県	1.29 ↑	島根県	1.24 ↑
栃木県	1.33 ↑	岡山県	1.73 ↑
群馬県	1.93 ↑	広島県	3.27 ↑
埼玉県	2.29 ↑	山口県	1.79 ↑
千葉県	3.94 ↑	徳島県	1.19 ↑
東京都	2.39 ↑	香川県	0.91 ↑
神奈川県	2.19 ↓	愛媛県	2.42 ↑
新潟県	1.53 ↓	高知県	0.80 ↑
富山県	0.42 ↓	福岡県	5.79 ↑
石川県	1.33 →	佐賀県	1.95 ↑
福井県	1.74 →	長崎県	1.44 ↑
山梨県	0.73 ↓	熊本県	1.35 ↓
長野県	4.09 ↑	大分県	3.00 ↑
岐阜県	2.02 ↑	宮崎県	2.74 ↑
静岡県	1.67 ↓	鹿児島県	1.13 ↓
愛知県	2.06 ↑	沖縄県	5.52 ↑
三重県	3.01 ↑	<b>全国</b>	<b>2.36 ↑</b>